

患者との協働(米国臨床腫瘍学会・ASCO)



沖縄県がん診療連携協議会委員提出資料

①

日本癌学会SSP(サイバイバー・科学者プログラム)

開催概要	
日時	2017年9月28日(木)～30日(土)
会場	パシフィコ横浜 (〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)
目的	がん患者や家族を支える団体運営者または個人が、日本癌学会学術総会への参加を通じてがん研究に関する理解を深めることで、がん研究に対してがん患者や家族の立場から参画する「リサーチ・アドボケート」が養成されること。また、リサーチ・アドボケートとがん研究者が協働してがん研究の推進を図ることで、がん医療の向上に寄与すること。
概要	SSPプログラム参加者は第76回日本癌学会学術総会において、SSPプログラムの受講、プログラムセッションの聴講、ポスターの発表、並びにあらかじめ指定されたテーマによるポスター提示・発表ができます。また、学術総会参加費の免除、学術総会参加に伴う旅費交通費の助成が行われるとともに、プログラム修了者には修了証が授与されます。
募集人員	10名程度
募集締切	2017年7月31日(月曜日) 17:00

応募資格	
SSPプログラムに応募するには、以下の条件の全てを満たす必要があります。	
1. がん患者や家族を支える団体運営者または個人であること。	
2. SSPプログラムの全日程に参加し、指定された全てのプログラムに参加すること。	
3. 学術総会会場のポスター会場において、あらかじめ指定されたテーマによるポスター提示・発表を行うこと。	
4. 医師、歯科医師、メディカルスタッフ(看護師・薬剤師・放射線技師・臨床工学技士・理学療法士・作業療法士・臨床心理士等の医師以外の医療従事者)、製薬企業関係者でないこと。	
5. 特定の治療法、代替療法、健康食品等を推奨する団体運営者または個人でないこと。	
6. 特定の政治団体、宗教団体を支持する団体運営者または個人でないこと。	
7. 農力団または農力団員との関わりがないこと。	

沖縄県がん診療連携協議会委員提出資料

②

プログラム	
1日目 9月28日(木)	
8:00-8:20	参加受付
8:20-8:50	「アドボケートメンター(注1)によるオリエンテーション」 天野 慎介(グループ・ネクサス・ジャパン) 梶井 なおみ(CSRプロジェクト) 眞島 善幸(リンキャンジャパン)
8:50-9:00	「開会式」メインホールにて開催
9:00-9:50	「SSPプログラム開会挨拶」 野田 眞生(がん研究ががん研究所) Margaret Foti(AACR: American Association for Cancer Research) 「SSPプログラムの概観」 眞島 善幸(リンキャンジャパン) 「SSPプログラムのナビゲーション」 梶井 なおみ(CSRプロジェクト)
9:50-11:40	学術総会口演の聴講
11:40-12:30	「SSP基礎講座・がん研究の歴史」 野田 眞生(がん研究ががん研究所)
12:30-13:30	学術総会口演の聴講
13:30-16:20	「SSP基礎講座・遺伝性のがんの診断と治療」 三木 義典(東京医科大学)
16:20-17:10	「SSP基礎講座・免疫療法のごまめと現状」 馬場 真司(九州大学)
17:10-17:20	「初日のまとめ」 天野 慎介(グループ・ネクサス・ジャパン)

第76回日本癌学会学術総会ホームページより

日本癌学会SSP(サイバイバー・科学者プログラム)

2日目 9月29日(金)		3日目 9月30日(土)	
8:30-9:00	SSPプログラム参加者によるポスター掲示	9:00-11:40	学術総会口演の聴講
9:00-11:40	学術総会口演の聴講	11:40-12:30	「SSP基礎講座・体診断(リキッドバイオプシー)の新潮流: がんを早期に発見するには」 落谷 孝広(国立がん研究センター研究所)
11:40-12:30	「SSP基礎講座・がん治療はこう変わってきている! (仮題)」 矢野 聖二(金沢大学)	12:30-14:40	学術総会口演の聴講及びグループ・プレゼンテーションの準備
12:30-13:20	「SSP基礎講座・臨床試験とSCRUM-Japan」 土原 一哉(国立がん研究センター先端医療開発センター)	14:50-15:50	「グループ・プレゼンテーション」(注2) グループのテーマ「がんの免疫療法」 グループのテーマ「ゲノム解析を通じたプレジクション医療」
13:20-14:20	「アドボケートメンターとのグループセッション」 梶井 なおみ(CSRプロジェクト) 眞島 善幸(リンキャンジャパン)	16:00-16:20	修了証書授与式 開会挨拶 野田 眞生(がん研究ががん研究所)
14:20-17:05	学術総会口演の聴講及びポスターディスカッション(発表)の準備		
17:05-18:00	SSPプログラム参加者によるポスターディスカッション(発表) 座長: 江口 英利(大阪大学大学院医学系研究科)		
18:00-18:20	SSPプログラム参加者によるポスター撤去		
18:20-18:30	「2日目のまとめ」 天野 慎介(グループ・ネクサス・ジャパン)		
19:30-21:30	「名譽会員・評議員合同懇話会」 (※) SSPプログラム参加者は全員参加となります		

第76回日本癌学会学術総会ホームページより

沖縄県がん診療連携協議会委員提出資料

③

日本癌学会SSP(サイバイバー・科学者プログラム)



沖縄県がん診療連携協議会委員提出資料

④



沖縄県がん診療連携協議会委員提出資料

⑤

「がん登録」活用で患者団体と協定 生存率が

2017/6/9 19:39



全国がん患者団体連合会と日本がん登録協議会は9日「がん登録」のデータを患者向けに分かりやすく情報提供するための発症率や早期診断の割合、病院ごとの生存率などを半年内の公開を目指す。

がん登録は患者ごとに診断されたがんの種類、年齢、性別などのデータを収集。以前は任意だったが、2013年に義務化し、全病院と一部の診療所が都道府県への報告が義務づけられ、データを集約している。

こうしたデータを使えば地域や病院ごとの比較や分析が可能となっている。大阪府や沖縄県などでは地域や病院ごとのデータは先行事例も参考にし、患者の視点を採り入れて、データの情報提供のあり方を検討する。



日本経済新聞ホームページ(2017年6月9日)／日本がん登録協議会第26回学術集会(2017年6月9日)より

沖縄県がん診療連携協議会委員提出資料

⑥



全国がん患者団体連合会がん患者学会2016／参議院インターネット中継より

沖縄県がん診療連携協議会委員提出資料

⑦

第2条(基本理念)

4 がん患者が尊厳を保持しつつ安心して暮らすことのできる社会の構築を目指し、がん患者が、その置かれている状況に応じ、適切ながん医療のみならず、福祉的支援、教育的支援その他の必要な支援を受けることができるようにするとともに、**がん患者に関する国民の理解が深められ、がん患者が円滑な社会生活を営むことができる社会環境の整備が図られること。**

第8条(事業主の責務)

2 事業主は、がん患者の雇用の継続等に配慮するよう努めるとともに、国及び地方公共団体が講ずるがん対策に協力するよう努めるものとする。

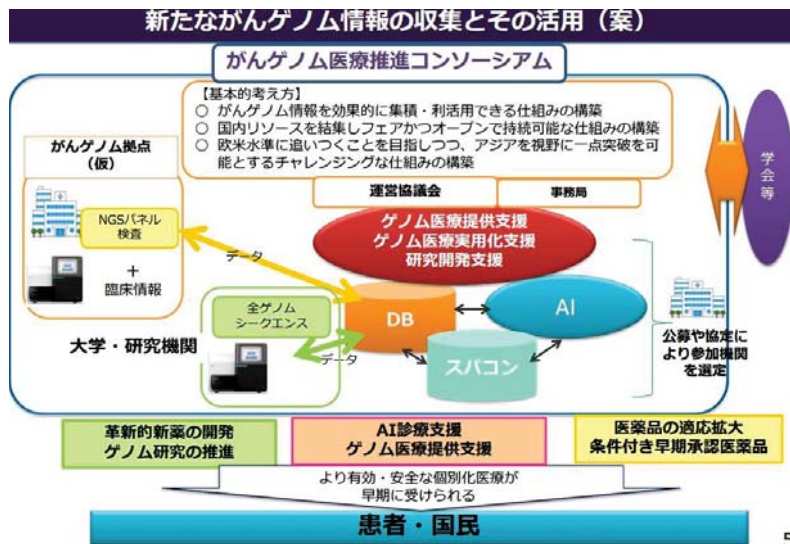
第19条(研究の推進等)

国及び地方公共団体は、がんの本態解明、革新的ながんの予防、診断及び治療に関する方法の開発その他のがんの罹患率及びがんによる死亡率の低下に資する事項並びにがんの治療に伴う副作用、合併症及び後遺症の予防及び軽減に関する方法の開発その他のがん患者の療養生活の質の維持向上に資する事項についての研究が促進され、並びにその成果が活用されるよう必要な施策を講ずるものとする。

2 前項の施策を講ずるに当たっては、罹患している者の少ないがん及び治療が特に困難であるがんに係る研究の促進について必要な配慮がなされるものとする。

沖縄県がん診療連携協議会委員提出資料

⑧



厚生労働省第2回がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会(2017年4月14日)資料より

沖縄県がん診療連携協議会委員提出資料

⑨

全国がん患者団体連合会 (受動喫煙防止対策を求める記者会見) 



FNN(フジテレビ)ニュース(2017年5月23日)／全国がん患者団体連合会ホームページ／朝日新聞(2017年3月24日)より

沖縄県がん診療連携協議会委員提出資料

⑩

がん研究への患者参画

「がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会報告書」(2017年6月)

がんゲノム情報の利活用に同意する**患者・国民**を中心としてがんゲノム医療のそれぞれの機能や役割を担う機関や**患者団体等**がコンソーシアムを形成し、それぞれの機能や役割を互いに確認し、関係する事業の進捗や財務状況等を公表・確認するとともに、厚生労働省や情報センターの運営主体等に対し、改善要望を含めた具体的な提案を行うことが非常に重要であり、それが可能となる枠組みの構築を検討する必要がある。

「がん対策推進基本計画案」(2017年6月)

AMEDは、海外の研究体制と同様、我が国でも**患者やがん経験者**が研究のデザインや評価に参画できる体制を構築するため、平成30(2018)年度より、**患者、がん経験者**の参画によって、がん研究を推進するための取組を開始する。また、国は、研究のデザインや評価に参画可能な**患者**を教育するためのプログラムの策定を開始する。

沖縄県がん診療連携協議会委員提出資料

⑩

12

全国がん患者団体連合会 (がん対策を求める国会院内集會) 



沖縄県がん診療連携協議会委員提出資料

⑩